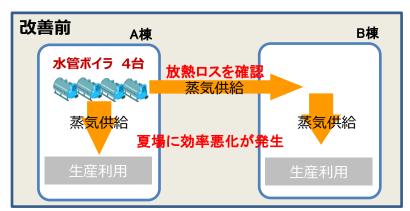
## 事業所内の蒸気供給最適化による省エネ

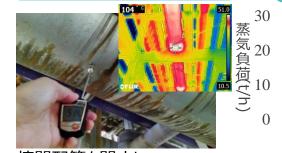
- ①蒸気配管の老朽化による放熱ロス(ムダ)が発生 課題
  - ②既設ボイラは大容量であるため蒸気負荷が少ない夏場で効率悪化(ムダ)が発生

## 取組と効果



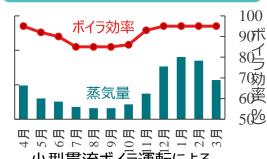


## ①老朽化による 放熱ロスを確認



棟間配管を閉止し、 B棟に小型貫流ボイラを設置

## ②低負荷運転時に 効率の悪化を確認



小型貫流ボイラ運転による 低負荷時の効率改善

項目	削減効果	
	都市ガス量 (原油換算kl/年)	CO2排出量 (t-CO2/年)
小型貫流ボイラ導入による蒸気供 給系統最適化	495	1,005
蒸気供給圧力適正化 蒸気圧力1.0MPa→0.8MPa	25	52
合 計	520	1,057

30